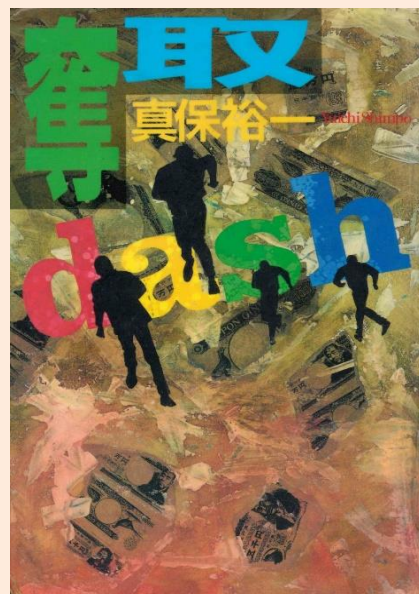


『奪取』 講談社
真保 裕一／著

アルバイト暮らしの道郎は、友人の雅人が暴力団から借りた1,260万円を返済するため、2人で偽札造りを始める。銀行の紙幣識別機をだますことに成功するが、雅人が警察に逮捕される。残された道郎は、偽札造り経験者の水田と印刷会社社長の子・幸緒(さちお)と共に、完璧な偽札造りに執念を燃やし、闇組織への復讐(ふくしゅう)を誓う。



多彩な題材で小説を生み出す作者の本作のテーマは、重い犯罪である「偽札造り」。どんな結末になるのかハラハラさせられる。驚くべきラストは読み逃せない。第10回山本周五郎賞・第50回日本推理作家協会賞を受賞。